

# 大学院博士課程設置の経緯

総務・財務担当副学長

山本 眞樹夫

## 博士後期課程設置

今年四月の入学式、大学院博士後期課程五名の学生を迎え入れました。本学が、学士、修士、専門職修士（ビジネススクール）そして博士の全ての学位を授与できる「大学」となった瞬間です。「大学」が他の高等教育機関や研究機関と異なるのは、機関として学位を授与できるからです。

本学大学院は、一九七一年に経営管理専攻修士課程（入学定員二〇名）を設置したところから始まります。ただ、その後、入学者が一、二名もしくはゼロといった状況が長らく続きました。このことは、決して研究者養成を怠っていたというわけではありません。本学出身の大学教授や研究者は多数います。また国際的にも著名な経済学者や経営学者を輩出していることはご承知のとおりです。本学

の大学院が修士課程にとどまるため、研究者を目指す学生は、学部を卒業すると修士課程をもつ他大学院へ進学していたのです。事実、博士課程設置が決まった後に行われた博士前期課程（従来の修士課程）の後期日程入試では、志願者が大幅に増え、入学定員（一〇名）の二倍を超える合格者を出さざるをえませんでした。

博士後期課程は入学定員三名ですが、志願者は一一名、合格者五名でした。この五名の中には、現役の他大学教授もいます。

## 設置申請へ

緑丘会からの物心にわたる全面協力を得て、二〇〇四年度の大学の法人化と同時に、本学にふさわしい大学院としてビジネススクール、アントレプレナーシッ

プ専攻を設置しました。ビジネススクール設置に際して、従来の大学院をどうするかは大いに悩んだところです。本学の性格からすれば、大学院をビジネススクールに特化し、ビジネス教育に注力して個性を発揮することが「小なれどその輝光強し」を実現する一つの道と考えたからです。

しかし、ビジネス教育は、常に最新のニーズと研究に基づかなければ意味がありません。しかもビジネスの最先端の研究を行い、研究者を養成するためには修士課程では中途半端です。そこで、経営管理専攻の入学定員を従来の半分の一〇名に削減し、現代商学専攻に名称変更したうえで、博士課程をめざして存続させることにしたのです。ビジネス教育を研究面で支える大学院は、博士課程でなければなりません。

○五年度には、国際ビジネス語であり、  
本学の特徴でもある英語関連科目を現代  
商学専攻に設けました。これによって、  
英語教諭免許をもっている学生が現代商  
学専攻を修了すると、中学・高校教諭の  
英語専修免許を取得することが可能とな  
りました。

いよいよ○六年度、設置申請です。こ  
の年、肝心の大学院設置基準が大幅に改  
正されました。改正の趣旨は、大学院も  
人材養成目的を明確にしたうえで組織  
的・体系的なカリキュラムのもとで教育  
を行わなければならないというものでし  
た。当然、博士課程の設置申請も改正設  
置基準に基づかなければなりません。

これにはビジネススクール設置申請時  
の経験が役立ちました。専門職大学院は、  
研究ではなく組織的・体系的カリキュラ  
ムを通じて専門職を育成する大学院で  
す。大学院設置基準は、内容的には専門  
職大学院設置基準に近いものに改正され  
たので、ビジネススクール設置申請時の  
ノウハウが役に立ったわけです。

このノウハウのおかげで、博士課程の  
仕組み作りは比較的順調に進みました。  
本学のような小規模単科大学が、専門職  
大学院と博士課程大学院を設置できたこ  
とで、改めて本学の教育研究の質の高さ  
を実感しています。

## 二〇一〇年に博士誕生

博士課程設置は私自身の夢でもありま  
した。私は一九七二年に経営管理専攻修  
士課程の第二期生として入学しました。  
修了後は、一浪し東北大学の博士後期へ  
編入しました。浪人中は、なぜ本学のよ  
うな伝統校に博士課程がないのかを大い  
に恨みました。いま、ようやく実現した  
わけです。

一八歳人口の激減、高学歴社会のなか  
で、本学にとっても大学院の役割はます  
ます大きくなっていくものと思われま  
す。三年後の二〇一〇年の卒業式には、  
博士（商学）の学位が授与されます。そ  
して、翌年、本学は一〇〇周年を迎えます。

## 東京三二会（昭32年卒）

### 月例懇親会

### 開催日のお知らせ

東京三二会月例懇親会の開催日を  
左記の通りお知らせいたします。

平成19年

9月12日（水） 10月10日（水）

11月14日（水）

12月4日（火） 忘年会・別途連絡

来年の1月、2月は休会します。

場所 サンシャイン60・57階

緑丘会館

時間 午後3時より約2時間

付 月例会に先立ち、囲碁会を午後  
12時30分より行っています。

連絡係 篠崎・小塚・市川